

おおぞら

綱領

- 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
- 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

平成27年度テーマ **進化**

サブテーマ **全員で、一歩ずつ前へ進もう！**

会長あいさつ

会長 清水隆文



平成27年度もいよいよあとひと月となりました。一年経つのがこれ程早いと感じた年は、過去には経験したことがありません。

第41期の会長という大役をさせていただくこととなり、今年度テーマを「進化」、サブテーマを「全員で一歩ずつ前へ進もう」とし、年度初めの例会時の挨拶において「まず、自分自身が進化したい」と抱負を語りました。この一年間、青年中央会での会長という重責の中、青年中央会の活動を主軸に全力で取り組んだ事により、自分自身大きく進化できたのではないかと考えています。取引先が県外にある私の仕事と青年中央会活動の両立は正直大変な部分もありましたが、どちらも疎かにしないという気持ちのもと、よりよい段取りの仕方を工夫してまいりました。その結果、仕事と青年中央会と家庭の並立、そして会長の任期も無事に終わることができましたが、もちろん、私一人の力ではなく多くの皆様のお力添えによるものだと思っております。大変感謝しております。ありがとうございました。

さて、会員の皆様も一歩前へ進めましたでしょうか、また「進化」できましたでしょうか。「現状維持は衰退である」とよくいわれますが、今年度以降も常に「進化」という意識を持ち、過ごしていただけたら幸いです。

今年度4月の第13回フラワーフェスティバルは、強風の為中止となり、心残りの結果となりました。しかしながら、このフラワーの為に、担当委員会は一年

かけてプチTというイベントを行っており、これからの青年中央会の一つの柱とも成り得る形を残しています。フラワーのみならずTザニアの中止は、多くの方より残念という声をいただいておりますので、是非とも、次年度以降も継続して可能性を探っていただきたいと思います。また、この度の中止において、それまでの準備段階の段取りや親睦、中止後の対応等、ビジネスの場でも活かせる記録と記憶がしっかりと残っておりますし、このことがきっと役に立つ時が必ず来ます。来年度のフラワーフェスティバルでは、今年度の分まで盛り上がるイベントになるよう皆で取り組んでもらいたいと思います。

その他の活動や行事においても、皆が真剣に考えた内容や活動が多くあり、50周年に向けての方向性が見えてきた部分もありました。青年中央会の活動は、地区、県とも可能性に溢れているといえます。やる気と周りの人のサポートにより、より素晴らしい活動が生まれています。当会のキャッチフレーズ「時代に挑み、次代を創る」を皆が日々実践しているのを会長という立場で拝見し、会員の皆を心強く感じ、誇りに思います。今後も期待しておりますので、是非とも、青年中央会を、鳥取を盛り立てていただきたいと思います。

最後になりましたが、このような私と一年間、一緒に活動をしていただきました会員の皆様、また、私を支えてくださった役員の皆様、ありがとうございました。そしてOBの皆様、関係機関の皆様にもご支援いただき、感謝いたしております。ますます、青年中央会を大好きに、そして誇りに思います。今後も、この想いを、楽しさを後に続く世代に伝えてまいりたいと思います。一年間、本当にありがとうございました。

3月オープン例会

地域イノベーション委員会 委員長 森 脇 勲

平成28年3月22日（火）とりぎん文化会館 小ホールにて、東部91名、西部14名、一般（OB、4青協含む）272名、総勢377名で、3月オープン例会を開催しました。

当日は、全日空でシステムトラブルにより欠航となり、講演会を中止になるのではないかとおりましたが、羽田経由～鳥取砂丘コナン空港着を陸路に変更、何とか到着され、講演会を無事に開催、終了いたしました。

講師には、「ホンマでっか!?TV」等でご活躍の澤口俊之氏をお招きし、『企業・組織の指導者が伸ばすべき脳力とは?』についてご講演をいただきました。

HQが高い人ほど仕事を継続し、高度な職に就く可能性が高いなど、将来の目標を持って動く脳が活性化するそうです。

今後のビジネスを真に伸ばすには脳の活性化が鍵になっていくことと思いますので、出来るところから取り組んで頂ければ幸いです。

最後に、チケット販売、当日運営ともに皆様のお力添えをいただき、会員全員の力で3月オープン例会が成功出来たと思います。本当にありがとうございました。



第13回フラワーフェスティバル in 湖山池

新!三方良し委員会 委員長 橋本 正 幸



★開催まで★

思えば一年間みんなでがんばってきました。暑い中水やりをして、ひまわりはホントに大きく育ちました。それからチューリップの球根を植えました。暖冬のせいで一足早く満開に・・・。

当日は球根配りになるかも・・・と心配しましたが、チューリップたちもよく持ちこたえてくれました。また、前々日・前日とほんとにたくさんの会員が準備に参加していただき、直前までの雨予報も一転晴れに！すべては順調と思われました。

★前日夜から当日朝まで★

前日夜10時ごろでした。日が暮れてから激しくなっていた風に一抹の不安を覚えながら当日の準備物を確認していたとき、メンバーから連絡がありテントが大変なことになっているとのこと、車で駆けつけるとテントは崩れ、花の絵は飛び、業者の設置したテントでさえも崩れていました。片付けに12時過ぎまでかかりましたが、結局20名以上の応援が集まり胸が熱くなり

天気もよく気温も温かかったものの、暴風警報のため無念の中止となりました。

ました。

翌朝6時時点、風は強いものの曇りで小雨、会長と相談も時間をずらしてでも開催する方向で話をしました。6時半過ぎには快晴。しかし、止みそうに思えた風もまた激しくなり、予報も改善しない様子で結局8時半で無念の中止を決断しました。

★当日会場★

日中はよく晴れました。時折吹き付ける強風に、「中止の判断は間違っていない」とおりましたが、強風が吹いても寒くないほど気温は上がり、複数の親子連れが来場しました。ご来場いただいた方へチューリップをお持ち帰りいただき、殆どなくなりました。お子さんたちの笑顔に何かホッとしました。

★まとめ★

結果フラワーフェスティバルは中止となってしまい、残念な気持ちはありますが大きな事故にはならず、また危機管理という意味では次年度に生きる貴重な経験になったものと思います。

ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



5月例会

総GOカ委員会 委員長 西川文雄

平成28年5月19日（木）、とりぎん文化会館第2会議室にて、臨時総会・5月例会を開催しました。

冒頭の臨時総会では、平成28年度役員承認がなされ、いよいよ次年度役員陣容が固まりました。

後半の5月例会では、各委員会・実行委員会が一年間活動してきた内容を報告する「平成27年度 委員会活動報告会」を行いました。清水会長の掲げる「進化」という年度テーマのもと、各委員会・実行委員会がさまざまな活動をしてきましたが、各委員長・実行委員長がそれぞれの活動に込めた想い、楽しかった出来事、

苦しかった出来事などを、笑いあり、感動ありのプレゼンに仕上げてくれました。

プレゼンする側も聞く側も一体となって楽しめて、「やはり青年中央会っていいな！」と感じることのできる素晴らしい例会になりました。



東・西部地区交流試合

森原義博



西部の皆さん、遠方よりありがとうございました。また応援団の皆様にも感謝申し上げます。そして幹事を引き受けてくれた西部の今川さん、東部の安養寺・鶴巻・松島祐一・松岡さん、本当にありがとう。一人では段取りできません。みんなに感謝です。さて、5月14日（土）東・西部の親睦会を開催しました。野球は敗北なのでNC。フットサルは混合チームで結成し真剣な顔、笑顔も有で、愉快地にできたと思います。この度の野球&フットサル&懇親会&その後も？を通じて私は何が言いたいかというと、この様な場所で出会って、また県の事業等で出会うと話が弾むでしょ。そんな関係柄にみんながなってほしい！その先がビジネスに繋がるのかもしれない。それはあなた次第です。『次は負けて西部さんよ〜』

謝申し上げます。そして幹事を引き受けてくれた西部の今川さん、東部の安養寺・鶴巻・松島祐一・松岡さん、本当にありがとう。一人では段取りできません。みんなに感謝です。さて、5月14日（土）東・西部の親睦会を開催しました。野球は敗北なのでNC。フットサルは混合チームで結成し真剣な顔、笑顔も有で、愉快地にできたと思います。この度の野球&フットサル&懇親会&その後も？を通じて私は何が言いたいかというと、この様な場所で出会って、また県の事業等で出会うと話が弾むでしょ。そんな関係柄にみんながなってほしい！その先がビジネスに繋がるのかもしれない。それはあなた次第です。『次は負けて西部さんよ〜』



努力精鋭委員会

船越誉裕



5月委員会では、当委員会の集大成である「目的を達成するための目標を立て、行動を実践する」という活動内容のもと、テーマを「スポーツでビジネスメリットを身に付けよう！」とし、浦富海岸健康マラソン5キロの部に参加いたしました。

3月から練習を始め、みんな徐々にマラソンを走れるようになりました。当日は天候にも恵まれ、委員会メンバー13名全員見事完走することができました！委員会メンバーにも「やってよかった」と言われ、やはり努力し実践するという事は、成果となって表れるんだと僕自身改めて感じました。この活動をビジネスにも生かしていただけたら幸いです。

皆様のご協力、本当にありがとうございました！



Information

★新入会員紹介★

- 岡村綾香会員（ジェミニ）
新！三方良し委員会所属
- 竹本英二会員（株式会社ケー・オウ・エイ鳥取事業所）
パッション委員会所属
- 大槻貴之会員（三井生命保険株式会社）
努力精鋭委員会所属
- 楠 光裕会員（南クスノキ）
パッション委員会所属

★新社屋落成★

- 岡大輔会員（平成28年4月、鳥取市安長に「ラーメン あお屋」移転オープン）
- 西田誠一会員（平成28年1月、フィリピンに「アクシスソフトウェアディベロップメントフィリピン」を設立）
- 小谷政文会員（平成28年4月、鳥取市叶に「FARM MART 鳥取店」をオープン）

パッション委員会コラム

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！今回ご卒業される皆さんは、1970年（昭和45年）6月5日生まれの常田孝一郎さんから1971年（昭和46年）3月20日生まれの橋本正幸さんまでの7名です。全員が1970年（昭和45年）4月2日～1971年（昭和46年）4月1日生まれの同学年であります。卒業生の皆さんと同学年のお二人がプロ野球の監督になっていらっしゃいます。中日ドラゴンズの谷繁元信監督（1970年12月21日生まれ）と東京ヤクルトスワローズの真中満監督（1971年1月6日生まれ）です。また、卒業生の7名の皆さんの内、5名が生まれた1971年のドラフト会議では、読売ジャイアンツが小林繁さんを6位で指名しました。小林さんは、由良育英高校（現在の鳥取中央育英高校）を卒業された野球選手で、江川卓さんの「江川事件」に巻き込まれて阪神タイガースにトレード移籍され、「悲劇のヒーロー」として人気を得ました。小林さんの「ジャイアンツだけには負けたくない」というパッションを感じる卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます！

卒業生からのメッセージ



瀬古智昭 (パッション委員会所属)
平成22年7月から、ちょうど丸6年間、皆様には大変お世話になりました。私自身の積極性のなさから、役員を経験できなかったことはとても心残りなのですが、100名を超える会員の皆様と繋がる糸口をいただけたことは、県外出身者の私にとっては、とても大切な、大きな財産となりました。様々な異業

種の皆様と同じ「中央会」会員ということだけで距離が大きく縮まるというのはとてもすていことだと思います。できなかった私がこのような言葉を残すのは恐縮ですが、皆様には、私のように卒会時に後悔することがないよう「状況が許す限り役員を経験されるなど、様々なチャンスを積極的に活かしていただきたい！」と思います。

最後になりますが、皆様ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いたします。



常田孝一郎 (努力精鋭委員会所属)
平成15年3月、「一生付き合える友を作れる会」と父から入会を勧められ、当時、県外から戻って数年の私に、青年中央会は地元社会での居場所的な環境を与えてくれました。私はもともとシャイで出ていくことが苦手でしたので、時には沢山の人の交流を面倒に感じたこともありました。しかし会

中で、沢山の尊敬できる人物に出会い、感化されて大人に成長させていただけたと思っています。転機はやはり役員を受けた頃でしょうか。会への思い入れも自然と強くなっていきました。沢山の人の役員を順番に経験していった感じです。この会では、額に汗し、率先する役員を経験を通してこそ、得られるものは大きいと思います。私はそうした中にご縁をいただけたと思っています。私の役回りは終りを迎えました。皆さんありがとうございました。次はあなたの番です。



橋本正幸 (新！三方良し委員会所属)
青年中央会へは平成20年度、平井淳子OBの紹介で入会しました。あれから8年・・・あつという間でした。

入会3年目の時、仕事も忙しいし、呑みは多いし、もう辞めよう！と思ったことがありました。ただ、そのタイミングで、お世話になった方から役員の打診があり、最初は断りましたが断りきれずもう1年関わってみよう！と副委員長をしました。中央会の景色は中から見るのと外から見るのとでは全く違いました。中央会が本当に楽しくなったのはそれからです。

会社での失敗は歓迎されませんが、中央会には前向きに頑張るって、結果失敗してもそこから学ばばいい会です。つまりやりたいことを、思いっきりやってみることができます。中央会は異業種の経営者やその幹部などの集まりなので、本当に多くの学びがあります。あの時役員の声をかけてもらったから、こうして卒業を迎えることができているんだと心から思います。

今まで関わっていただいた、たくさんの方々に感謝します！そして現役のみなさんこれからも中央会で大いにチャレンジしてください。8年間、ありがとうございました。

編集後記

会員の皆様と助け合いながら沢山の事を学んだ委員会活動。あつという間に過ぎてしまった1年を振り返ればいろいろな思い出があり感謝の気持ちでいっぱいです。次年度も楽しみましょう。



あべ 剛 司 (地域イノベーション委員会所属)

入会から11年、長かったような、あつという間だったような、そんな11年間でした。その間に多くの仲間に出会え、本当に多くの勉強をさせて頂き、大変な時もありましたが、今の私があるのはこの青年中央会のおかげだと思っています。

この会に在籍している事を、楽しい・自分の為になると思うのも、楽しくない・自分の為にもならないと思うのも、それはすべて自分自身の気持ちと行動次第ではないかと思えます。現役の皆さん、今ある中央会活動を、自分自身にとって是非とも有意義なものにして下さい。そして、楽しく卒業の日を迎えられるよう頑張ってください。陰ながら応援しております。



にしお かずゆき (地域イノベーション委員会所属)

中央会には42歳で入会しました。入会にあたり、「自分自身成長したい」「異業種の方と積極的に関わりたい」という目標を立てました。億劫な性格で、どれだけ成長できたか分かりませんが、自分の中では「3分間スピーチ」をさせて頂いたことは1つ大きな思い出です。また、多くの方に巡り合い、その考え方や行動力に大変刺激を受けました。私にとっての財産になりました。

皆様にとっては年上の新入会員ということで、大変気を遣わせてしまい、また甘えてしまったのではと思い反省しております。わずか3年間という活動でしたが、非常に有意義な時間をありがとうございました。

最後に現役の皆様へ、中央会を楽しんで下さい。気の持ちよう、楽な気持ちでいれば、良い出会い、良い経験がたくさんできるのではないのでしょうか。皆様のますますのご活躍を期待しております。



やしろ ひろき (総GO力委員会所属)

平成21年度5月に中央会へ入会し、あつという間の6年間でした。転勤で鳥取営業所に配属となり知人・友人もいない地でのスタートでした。法人関係の担当をしておりましたので、鳥取で人脈づくりをと思ったのが入会のきっかけでした。

現役会員のみなさまには「何事にも積極的に行動すること」を進言します。よく言われることですが、行動することで見えてくることはたくさんあります。失敗を恐れずに一歩前に踏み出す勇気をもってください。私自身もこの中央会に飛び込み、素晴らしい方々との出会いがありました。仕事においても会員企業の皆様と様々な繋がりができるようになり、中央会に入会して本当に良かったと思っています。

みなさまも今後、中央会活動を通じ「積極的に行動すること」で、自己の成長を楽しんでいただきたいと思います。



やまもと ひろき (総GO力委員会所属)

平成16年3月、鳥取取電子(株)の谷口元会長のご紹介で入会させて頂き12年、『もう卒業せんといけんか…。』と正直寂しい思いです。

中央会に入会し、役員を経験し、活動をしたことにより本当に多くの事を学び、成長させて頂きました。振り返ってみると、あの時も、あの時も、あの時も…と色々な場面でたくさんの先輩、仲間を支えられ、感謝、感謝、感謝の気持ちでいっぱいです。多くの皆様と出会えたこのご縁は、わたしにとって宝物となりました。

中央会での経験は私の自身となり、将来の力となるでしょう。この会に入会したことを、心からよかったと思っています。本当にありがとうございました。そしてお世話になりました。

現役の皆様へ一言。がむしゃらに頑張ってください。頑張ったその結果が、あなたの財産となるでしょう。応援しています。

卒業生7名に贈る 四字熟語



意味：一つになる事を常に考えている。
同義語、一致団結
また、夢を成し遂げるために常に考え、一つの道を突き進む様。



意味：不動なる心で意志が強く、丁寧で心遣いのこまやかなこと。



智：物事をよく知る
弁：弁護士
熱：パッション
昭：あきらかにする
意味：瀨古智昭さんの名を表す情熱と冷静で智的な弁護



意味：相手を大切に協力し合い、幸せを呼び込むこと。



意味: やると心に誓って物事に当たれば道は開ける。



意味: 昨年度のフラワーフェスティバル担当のクリエイティブ委員会の担当副会長を務められ、今年度も総GO力委員会のフラワーフェスティバル担当として獅子奮迅の働きをされておられました。今年度は残念ながら中止になってしまいましたが、昨年度の40周年スペシャルではフラワーフェスティバルを大いに盛り上げ、その激しい情熱で皆を引っ張ってきてくれました。風のように素早く動いたり、林のように静かに構えたり、火のような激しい勢いで侵略したり、山のようにどっしりと構えるという意味の、武田信玄の旗印に用いられた「風林火山」。山本さんの「山」の字を含んでおり、また、ミスターフラワーという意味を込めて「火」の字を「花」に変えました。ご卒業されてからも、経営する会社、鳥取の地域のために、武田信玄のごとく一時代を築く英雄としてのご活躍をされるよう祈念しています。



意味: 今年度の総GO力委員会では、矢倉さんは卒業生として、委員会メンバーに対して中央会魂を伝授してきてくれました。学術・技芸などの奥義を、代々自分の子供の一人だけに伝えて受け継いでいくことを意味する「一子相伝」。「子」の字を、「一矢報いる」の「矢」の字に置き換え、また、「相」の字を「倉」の字に置き換えて、「矢倉」の文字を組み入れた四字熟語を創作しました。ご卒業されてからも、青年中央会のキャッチフレーズにある「次代を創る」べく、矢倉さんの中央会魂を生かして、次世代の後継者育成に励んで欲しいという思いを込めて、この四字熟語を贈ります。矢倉さん、ご卒業、おめでとうございます!!

